

### 3組 特別支援学級

## 「学び合い」と「自尊感情の高揚」

田村 雅彦

自閉症・情緒障害学級に2年生男子2名が在籍し、通常学級男子1名、女子1名の計4名で自立活動と数学の学習を実施している。自立活動の時間は、最近のニュースで感じたことを自然な雰囲気で見聞交換している。2学期に入り、進路への関心が高まってきており、職業や進学の話が多くなっている。しかし、基礎学力が十分に身に付いていないため、将来や学習の不安を口にしたり、意欲が低下したりする生徒が見られる。また、思ったことをすぐ口に出してしまう生徒もいる。自立活動の時間では、主に協働的な学習による学び合いを通して自尊感情を養って自信を持たせ、主体的に活動する生徒の育成を目指したい。

#### 1. はじめに

「心を安定させて生活する」「目標を持って生活する」「成功体験を味わう」など、自立に必要な経験を通して自尊感情や自己肯定感を高めていきたい。以下のような、【ねらい】を意識して自立活動の実践を行った。

##### 【ねらい】

協働的な学習 で 学び合い

個人の考え ⇔ みんなの考え

個人の学び ⇔ みんなの学び

個人の成功体験 ⇔ みんなの成功体験

個人の自尊感情 ⇔ みんなの自尊感情

#### 2. 学びの実際

##### (1) フリートークで雰囲気づくり

気軽に会話する雰囲気づくりのため、授業のはじめにフリートークの時間を設けている。部活動や習い事の話や新型コロナウイルス関連、総理大臣やアメリカ大統領選挙、芸能関係、アニメ、音楽など話題は多彩である。仲間同士の関心事や趣味を紹介して共有し合うこの時間はゆったりとした雰囲気になっている。特に趣味の話は、興味の高い内容となるので、楽しんで話をする姿が見られる。教師も生徒と同じように最新のニュースを中心に会話を楽しんでいる。また、しっかり話を聴いて受容する姿勢を大切にしている。「なるほど、そうなんだ」「すごいね、頑張ってるね」など肯定的な言葉で受け止めるよう心がけている。今後も温かい雰囲気の中で自由な会話を継続し心の安定につなげたい。以下にフリートークの内容を簡単に紹介する。

次郎：部活動や校外活動の練習や試合のことをよく話す。土日の疲れを訴えることもあるが、「きのう、このフォームでホームラン2本打った」など、自分が活躍した場面を身振り手振りで表現しながら得意げに話す。

星光：自分から話題を切り出すことは少ないが、みんなの話をよく聴いていて、短い言葉であるが、「それはそういうことなのか」など感想をつぶやくことが多い。進学への不安を口にしますが前向きにとらえていると感じる。

雅貴：プラモデルやジオラマなどのものづくりやアニメの話題になると積極的に話をする。最新のニュースにも関心があり、「あーそれは、〇〇だからだよ」と自信を持って話す。

花美：芸能関係やスイーツの話題が中心で、「〇〇のタピオカがおいしい」など、表情豊かに話をしている。みんなに「△△についてどう思う？」など問いかけることも多く、会話の中心となっている。

2年生になって最初の頃は、会話の中で他人を批判する発言が見られた。そうしたとき、D子が「それは、言い過ぎだよ」とさりりと注意する場面もあり、自立活動の時間を大切にしようとしているのを感じる。そのためか最近は批判的な言動はほとんど見られなくなっている。このような、さりげないコミュニケーションを通して、他者との関わりを学ぶ場になっている。

##### (2) 進路調べで学び合い

フリートークの中で進路への関心が高まってきた様子もあり、職業調べを行った。家族の職業や関心のある職業を選び、仕事内容や苦勞、やりがいなどをインターネットで調べ、プレゼンテーションソフトでまとめた。画像の貼り付けやアニメーション加工に迷いながらも、そのつど質問しながら、意欲的にまとめる姿が見られた。

その後の発表会では、自由な雰囲気の中で、わかったことや感じたことを付箋にメモして、

それをもとに伝え合うことができた。学びの共有を図ったことで、職業への理解と関心が高まった。今後、高校調べや自分の将来について考える場を設けたい。



職業調べの様子

### (3) 数学の学習で学び合い

数学に苦手意識を持っており、簡単な計算問題にも戸惑う場面が見られる。理解できたかどうか確認しながら、ゆっくりとしたペースで学習を進めるが、分数計算や負の数の概念を振り返ることも多い。時に「この問題、むずかしい、無理」など、素直な言葉も出る。

ある日、一次関数の学習の場面で、以下のようなやりとりがあった。

星光：この問題わからん。

星光はそう言って机にうつ伏せる。

次郎：自分はわかったから教えてやるよ。

次郎は星光の机に近づく。

次郎：どこがわからんのや？

星光：この問題わからん。

次郎：これはこうして解くんや。

次郎はホワイトボードに移動し、説明しだした。

次郎：この式は、まず括弧をはずして。次に $y$ を左辺にもっていくんや。そして、こうやって計算して……

雅貴：おお、なるほど。

花美：括弧はずすところからもう一回教えて。

次郎はもう一回説明する。

次郎：みんな、わかった？

みんな：うん。

この次郎の行動にはびっくりすると同時に、みんなへの心遣いを感じ、うれしく感じる瞬間であった。「わかりやすい説明だね。学び合っていていいね」という言葉でねぎらった。

このような学びを共有できる時間をもっと設定していきたい。



学習の様子

### 3. ふりかえり

- ・楽しく学ぼうとする集団を育成し、わかったことやそのよろこびをみんなで共有することは大切である。個人の学びが集団の学びに、集団の学びが個人の学びにつながる。今後、自立活動でもこのような学び合いの場を多く設定し、成功体験を味わうことで自尊心を高めていきたい。
- ・自立活動の時間は、生徒からの学びも多く、教師としての成長にもつながると感じる。教師の自尊心の高まりが、生徒の自尊心の高まりにつながる。生徒といっしょに会話を楽しみ、ともに協働し学び合う姿勢を持ち続けたい。

#### 【参考文献】

放送大学教材 特別支援教育基礎論 2020